

奥出雲病院介護医療院（愛称：『虹の郷』）の概要

R4年1月

『虹の郷』の由来

虹の七色を当施設の利用者様に関わる七つの部門（医療・看護・介護・薬剤・検査・栄養・事務）にたとえ、それぞれがカラーを出し合いながら入所者の尊厳を保持しながら自立した生活が送れるためにそれぞれカラー出し合い協働しながら入所者を支えていきたいという思いを込めている。介護療養型病棟当時から命名。介護医療院へは、令和2年11月に移行された。

<理念>

入所者、利用者の尊厳を保持し、その方の能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるように支援を行います。

毎日繰り返し丁寧に行われるケアこそ高齢者の尊厳の保持につながる。

<目標>

1. 入所者、利用者の意思・人権・人格を尊重し、入所者、利用者のそれぞれの立場に立ってサービスを提供いたします。
2. 安心・安全で、明るく家庭的な雰囲気療養環境となるように努めます。
3. 心身の拘束ゼロを目指し、入所者、利用者の自由を守ります。
4. 知識・技術の向上に努め、質の高い看護・介護を実践します。
5. ご家族や地域との結びつきを大切にしながら、サービス提供や施設運営をいたします。

<施設概要>

- ・ 入所者数：50床（短期入所に関しては空床運用） ※1月5日現在 32名利用
- ・ 入所者：平均年齢 87.3歳（最高齢：102歳）
平均介護度 4.0
- ・ スタッフ人員：27名 看護師 14名 うちケアマネージャー兼務 2名
介護職員（CW） 13名（うち介護福祉士6名）
- ・ 勤務体制：2交替制 夜勤は基本看護師1名+CW1名体制
- ・ 診療体制：基本的に7名の医師による主治医制

<特徴>

- ・ 2回/週の入浴（体調不良以外は原則入浴だが、スタッフの状況で変更あり）
- ・ 年4回のレクレーション行事（納涼祭、運動会、クリスマス会、おひな祭り）
- ・ 地域やボランティアの方々との交流（行事にあわせての参加等）
- ・ 原則食事は食堂（ダイルーム）で食べていただく。（車椅子・ベッド）
- ・ その方らしい生活やご家族とのつながりを大切にしている。
- ・ 身体拘束しない・・・安全を考えるあまり、高齢者虐待につながる

町立奥出雲病院 在宅診療センターの紹介

町立奥出雲病院在宅診療センター
TEL 0854-54-2775(森長・勝部)

令和3年度より総合診療科医師2名着任に合わせて在宅部門の集約化と機能強化、町内の持続可能な在宅医療提供体制づくりを目的に設置(7月1日)。

○活動方針

- ・ 病院から地域へ
- ・ 多職種連携強化と地域に浸透するような活動を
- ・ 奥出雲町全体の仕組みづくりへ



◆事業について

○当センターの4事業と活動



○3カ年計画

- 1年目:センター設立と関係づくり
- 2年目:連携の質を高めるための仕組みづくり
- 3年目:町内在宅医療実施体制づくり

○訪問実績(令和3年11月時点)

- ◆ 訪問診療 約10件/月
- ◆ 訪問看護 約140件/月
- ◆ 訪問リハ 約120件/月
- ◆ 訪問栄養指導 約45件/月

◆最近の取り組み(関係づくり・人づくり)

○人材育成セミナー開催中

月1回、当院職員や近隣医療機関・介護事業所とともに学ぶ機会を設け、資質向上と連携推進を図っている

【タイトル】

事実質問、高齢者のせん妄対策、
誤嚥性肺炎&フットケア など



○在宅医療シンポジウム開催(11/20)

県内で先進的に在宅医療に取り組まれている医療機関の先生方を迎え、今後の奥出雲町の「在宅医療のあり方を考える」機会として開催。

